カーレポート 第72号
(2020年1月1日号)
CaReport

謹賀新年

1

PHOTO1 ▶ 初日の出

元旦、6 時 49 分。
水平線にはあいにくの雲。予定時刻を 5 分を過ぎたころ、ご来光を拝む事ができました。
この写真は 2019 年の初日の出です。

ACCESS ▶ 湊公園

ひたちなか市湊中央 1-1（カーレポひたちなか工場から 15 分）

PHOTO2 ▶ 茅輪くぐり

茅輪くぐりとは、神社内に茅（ちがや）という草で編んだ輪を作り、これを 8 の字状に 3 回くぐることで厄を祓い、無病息災を祈願する儀式の事です。
毎年 6 月に行われる「夏越（なごし）の祓（はらえ）」で、行う事が一般的ですが、一部の神社ではこのように年越にも行われています。

ACCESS ▶ 橿原（かしはら）神宮

ひたちなか市富士ノ上 2 の 1（カーレポひたちなか工場より車で 10 分）

2

撮影と文　ELV 事業部　渡邉貴宣

CONTENTS

P2 社長挨拶
いまさら聞けない！「SDGs」ってなんだ？
P3 「廃車」「売却」だけじゃない 使用済自動車 第３の選択肢
P4 セキュリティ強化＆コミュニケーション活性化 本社改装でパワーアップ
ブログでご紹介いただきました
気分は水戸黄門御一行？水戸を漫遊 水戸黄門漫遊マラソンに参加
P5 ヨシナシゴト～徒然なるままに～「常陸国風土記 久慈の郡（2）」
鉄スクラップ相場
P6 教えてレポじい！～ SDGs 編～ / カーレポギャラリー 木像の大黒天
脳トレの時間

社長挨拶

あけましておめでとうございます

昨年の2019年は、日本が豪雨・台風・地震など様々な自然災害の猛威に見舞われた悲しい年である一方で、ラグビーの日本代表がベスト8入りを果たしたり、女子ゴルフの渋野日向子選手が全英制覇するなど、歴史の1ページを作り上げた感動的な年でもありました。

「今年はどんな年になるだろう」

人は、その期待を受け身で捉えがちになります。だからこそ、スポーツ選手のような「『こうしたい』と心に決め、主体的に行動する姿勢を見せる人」に多くの感動が生まれている気がします。私は、カーレポという会社を「次世代にとって〝今〟必要な会社」にしたいと思います。37歳で父から跡を任され、2019年6月に社長就任10年目を迎えました。今年は、次の10年を創る元年と考えています。

脱炭素社会へ

さて、気候変動に関する問題が近年益々大きくなっています。残念なことですが、グレタ氏[*1]のような若者に、大人の役目を問わせる時代となってしまいました。脱炭素時代を作り上げていくためにも、私たち世代の役割や価値を再定義し、「サーキュラーエコノミー」という循環する経済システムが生み出されていくことが必要だと感じています。

例えば、ユーザーや企業が所有する自動車は資源の塊であり、人類が持つ技術の結晶によって形を変え、地下から地上へ出現しました。だからこそ自動車から始める循環型社会への移行は、私たち一人一人の考えを『もう乗らない』となった自動車は、もはや自動車ではなく鉄や非鉄資源の塊なのだ！」とセットすることからでしょうね。そして、地球が吸収できる量の倍以上のCO_2が排出されている現代において、先進国社会は自動車に代表されるような地上資源をもっと活用し、更なる品質と技術の発展へと導き、製品の長寿命化へ向けたサービス責務を益々課し、脱炭素社会構築に貢献すべきだと思います。

カーレポの取り組み

弊社は自動車の長寿命化に必要な「品質管理」を得意としており、昨年、屋外モータープール単独で倉庫業許可を取得しました。これにより、自動車製品の保管と品質管理を並行する器量を備えることが出来ました。また、自動車から発生する地上資源の対メーカー供給を可能にする「都市鉱山プラットフォーム」の独自開発に着手し、ライセンスを取得しました。これはまさに「循環経済を推し進めるために〝今〟必要な企業」として貢献し続けるための準備と言えるでしょう。

サスティナビリティ（持続可能性）×デジタル＝使用済みから再生される無為自然なスマート社会

人口が増加の一途をたどる地球環境においても尚、大自然と調和のとれる社会づくりへのご理解と御支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

*1 グレタ・エルンマン・トゥーンベリ（2003年1月3日～）……スウェーデンの環境活動家。主に地球温暖化によってもたらされるリスクを訴えている。2019年には、国際女性デーを記念してスウェーデンで最も重要な女性に選ばれた。また、同年9月に開かれた国連気候行動サミットでのスピーチが世界的に話題を呼んだ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 「SDGs」ってなんだ？

いまさら聞けない！

世界が2030年までに達成すべき持続可能な開発目標のこと

SDGsは、2015年国連サミットで加盟国193ヵ国の総意で採択された、世界が2030年までに達成すべき持続可能な開発目標のことです。【地球上の誰一人として取り残さない】をスローガンに、「17の目標（ゴール）」（左図）と、それらを達成するための「169のターゲット」（対策と細分化された目標）を掲げています。日本政府はもちろん、今や多くの日本企業も賛同し、行動しています。私たちの生活からは遠い存在に感じる、という人もいるかもしれません。しかし、先ほど挙げたターゲットの中には、「一人当たりの食品廃棄を半減させる」「育児や介護、家事という家庭内の無報酬労働を認識し、責任を分担する」など、日常生活でも取り組めるものも多くあります。

カーレポも、SDGsに繋がる事業を行っています。前回（10月1日発行）のカーレポートでも紹介した、精緻な自動車再資源化を実現し地上資源を活用していくことは、廃棄物とCO2の発生を削減することに繋がります。このことは、「17の目標」のうち7・11・12・13～15への貢献になると考えています。

みんなが生きやすい地球を目指して、私たち一人一人が小さなことから始めてみませんか。

「廃車」「売却」だけじゃない 使用済自動車 第3の選択肢

寄付したいです

これからは

活用が難しい車

・状態が悪い
・車検切れ 等

今までは

お断りするしか なかった

カーレポが 引き取り

買取金は

解体・リサイクル

環境に 優しい 適正処理

パーツは

再資源化

新しい物へと 生まれ変わり ます

被災地などで車を失い 困っている人々の **支援活動資金**に

役に立てて よかった

10月30日締結式を行いました。式の様子と取り組みについて茨城新聞と読売新聞 茨城県版に掲載されました。
＜写真＞（一社）日本カーシェアリング協会 石渡賢大さん（写真右）、当社 内部統制室 鈴木係長（写真左）。

「寄付する」選択肢

もう使わない自動車。「寄付」をすることで、困っている人の手助けができます。

10月30日、一般社団法人日本カーシェアリング協会様（以下協会）と協定を結びました。協会は、寄付された車を、被災地や車がなくて困っている人の為に活用しています。今までは手を加えずに活用する事が難しい車は、寄付を受け付けることができませんでした。この締結では、そんな車をカーレポが引き取ることで困っている人の手助けできるようになります。買取金は、支援活動資金として寄付され、被災地などで活躍する車の維持費などに充てられます。解体された車は、再資源化されリサイクルされます。協会の石渡さん（上の写真右）は、「誰かの役に立ちたいという人は思っているよりも多く、その人たちの気持ちに一層答えられるようになり嬉しい」語っていました。

自分はもう使わない車で、社会貢献ができる。ただ「廃車」または「売却」するのは、もったいない時代かもしれません。

引き揚げに初密着！

去る11月30日。活用が難しい寄付車の引き揚げがありました。同行した小林さんは「1997年式の不動車だったのですが、とてもきれいな状態でした。お話を伺ったところ、『時々ワックスをかけていたんだ』とお聞かせいただき、大切にされていたんだなと感じました。大切なお車を寄付していただき、大変ありがたく思います。」と話してくれました。

▲所有者のご主人（中央）と記念撮影

「車を寄付したい！」と思ったら

☎0225-22-1453
（一社）日本カーシェアリング協会 まで

（一社）日本カーシェアリング協会は、寄付車を活用した被災地支援など、社会貢献事業を行っている一般社団法人。寄付された車は、免許返納後の高齢者など交通に不便がある人々を減らす取り組みや、災害支援NPO法人への車の貸し出しなどに活用。今までに約400台の寄付車が集まっている。

公式ホームページ
https://www.japan-csa.org/

セキュリティ強化&コミュニケーション活性化

本社改装でパワーアップ

4F コミュニケーションルーム＆会議室

1. コミュニケーションルーム。コーヒーサーバーを導入！2. 会議室。フロアを壁で仕切りました。用途により雰囲気をガラリと変えています！

3F 社長室

シックで上品な明るい雰囲気のオフィスになりました。

2F 執務室

1. ナチュラルで落ち着く色使い。固定席とフリーアドレス席の使い分けで効率 UP ！ 2. 鍵付きパーソナルロッカー導入

総務課次長 草野満

カーレポ本社は半年をかけ、セキュリティ強化と業務効率 UP を実現したオフィスへと生まれ変わりました。その効果について、改装前の本社に詳しい草野次長にお話を伺いました。

――改装後、どんなところが改善されたと思いますか。

草野「セキュリティ面では、オートロックの導入で安心かつ便利になりました。以前は鍵の管理者がいないと対応が出来ない場面もありましたが、オートロックにより効率化され、鍵の紛失もないので個人の負担軽減やセキュリティ強化に繋がったと思います」

――他に変化した部分はありますか。

草野「コミュニケーションの活性化を実感しています。フリーアドレスになったことで、色々な社員と話すようになりました。また、以前は重要な会議も簡単な打ち合わせも会議室を使用していましたが、4階のコミュニケーションルームが出来たことにより、気軽に打ち合わせが出来るようになりました」

コミュニケーションの活性化は大切な変化ですね。社員はもちろん、お客様にもご好評をいただいております。ご来社の際は、ぜひコーヒーをお楽しみください♪

気分は水戸黄門御一行？

水戸を漫遊

水戸黄門漫遊マラソンに参加

10 月 27 日、第 4 回水戸黄門漫遊マラソン大会が開催されました。カーレポからは、「フルマラソン」と「5km」に参加する社員が！会場では応援の和太鼓が響きわたり、お祭り気分でした♪

Thank You

ブログでご紹介いただきました

「誉田養徳園のブログ」

https://ameblo.jp/youtokuen/

誉田養徳園は、茨城県常陸太田市にある児童養護施設です。ブログでは、活動内容やイベントを紹介。遠足などで楽しむ子どもたちの様子にほのぼのします♪

昨年 8月24日開催の「リサイくるまつり」に、誉田養徳園（ほんだようとくえん）の子どもたちが遊びに来てくれました！また、同園のブログでも取り上げていただいたのでご紹介いたします。らくがきコーナーやゲーム、解体ショーも、楽しんでいただけたようで、嬉しく思います♪また来年もいらしてくださいね。ありがとうございました！ (*^^*)

（写真上）パワースポット岩石
（写真右）久慈郡の中心地、阿武隈山系、太田城址の全景

ヨシナシゴト ～後然なるままに～
常陸国風土記 久慈の郡（2）

風土記久慈郡には、次の記述があります。

「東の大きな山を『賀毗礼の高峰』という。即ち天つ神在り。もと天より下り、名を立速男命といい、松沢の松の樹の八俣の上に座しき。神の祟り厳かにして、人有り、向きて大小便行る時は、災を示し、疾苦を致さしめる」

「（困った村人は）状を朝に請いまおしき。朝廷は、片岡の大連を遣わし『高山の浄き境に鎮まりたまい（どうかここを避けて、高い山の清浄なところに鎮まってください）』と祈ったところ、神は聴き給いて賀毗礼高峰に登った。社は石を持って垣根とし、多くの宝、弓、埃、釜、皆石となりて存れり。峰の上には鳥も飛び避る、小川あり薩都の河と名付ける」

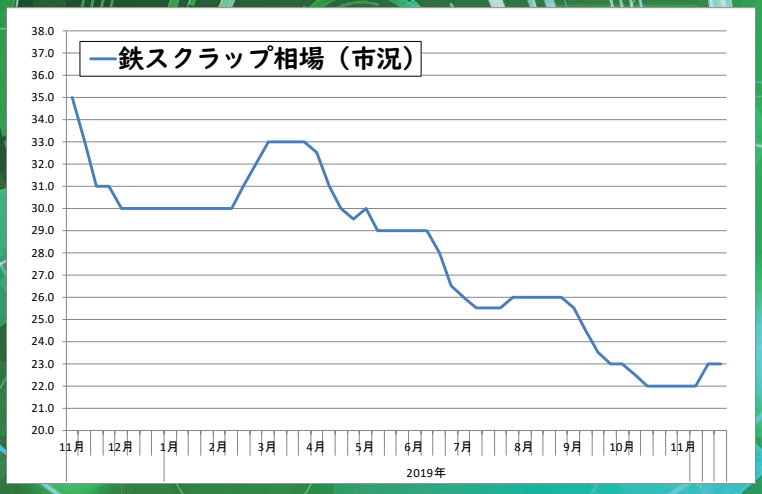
「この地は、内大臣藤原氏の封土＊1となり、堤を築いて灌漑工事＊2をし、鉱山開発により、青丹、赤土、玉石を産出させた。朝廷との関係深く当時から、米、織物、海産物（鮑は熨斗アワビ）を徴発＊3、そして兵士を防人として九州・博多へ。又、陸奥国（むつのくに）への前進基地として、坂上田村麻呂、藤原秀郷、源義家、弟の義光が城を築き、兵馬・食料調達の地として、武士団の集合地となりました。

現代ではパワースポットで有名になったお岩神社の一帯、賀毗礼の高嶺、勝割山（鏡石）、泉が森、水木の浜のアワビ、倭文神社（静神社）、結城紬の源流であると言われている機織りの里（長幡部神社）等、訪ねてみてはどうでしょうか！

＊1 封土……封建君主が、その家臣に領地として分かち与えた土地。
＊2 灌漑工事……農業のために河川や湖などから水を引いてくるための土木工事。
＊3 徴発……軍事的必要のために物品を強制的に徴収すること。

K. Akasu

鉄スクラップ相場



中国の粗鋼生産減少＊1、トルコ向けのアメリカ鉄スクラップ及びロシア鉄鋼メーカーによるビレット輸出価格の上昇により、日本から海外への輸出価格も上昇し、国内のスクラップ相場は２週連続で上昇しました。しかし需要そのものが高まっているわけではなく、米中貿易摩擦・自然災害・原料高／製品安などの影響により、製造業の減速が国内にも表れ、建機・産機など建築関連の需要が低くなっているようです。過去の鉄スクラップ相場の推移を見ますと、現在の低迷している状態から再び山を迎えるのは２～３年後かもしれません。

＊1… 米中貿易摩擦などにより国内製造業活動水準低下を危惧した、中央政府の環境規制緩和による影響と思われる。

カーレポギャラリー

CarepoGallery

木像の大黒天

大黒天の木像を、すべて色鉛筆で描きました。通常、白い部分は紙の色を活かし塗らないのが一般的ですが、木のつやを表現するため、木像の色を塗った上から白の色鉛筆で力強く塗りました。塗った色を潰しながら削り取る感じです。そんな感じで塗っていると、白と茶の境目が密度の高いなだらかなグラデーションになるのです。専門学生最後の年、デッサンの課題で描きました。

作　井坂知可

※ SDGs の理念（スローガン）

1	2		3	■	4
■		■	5		
6		7		■	
8			■	9	
	■	10	11		■
12		■	13		

タテのカギ

2 光などが折れ曲がる事。
3 店等の場所を変える事。引っこし。
4 人力のかわりに機械を使うこと。
6 体を動かそうとすること。「〇〇〇〇がとれない」
7 馬が引く、人や荷物を運ぶための車。
9 水田に稲の苗を植えること。
11 わからないことをたずねること。

ヨコのカギ

1 弱い立場にある者を圧迫し、ひどく苦しめること。
5 手のあか、手で触ったからついた汚れ。
6 店先で客の応対・商品の見張りをすること。また、その人。
8 うつしとった文書や絵。コピー。
9 鷲より少し小さく、鋭い爪と曲がったくちばしを持った鳥。
10 政党政治で、政権を担当していない政党。
12 物事の構造・内容・仕組みなどの大きさ。
13 英語で「はい」など肯定の言葉。

Car Responsibility for posterity

カーレポ株式会社

〒310-0801　水戸市桜川一丁目８番29号
TEL：029-300-2525　FAX：029-300-2424

企業サイト
https://www.carepo.jp/
カーレポ

ご意見・ご要望もお待ちしております。
koho@carepo.jp
（ブランドマネジメント室）

店舗のご案内

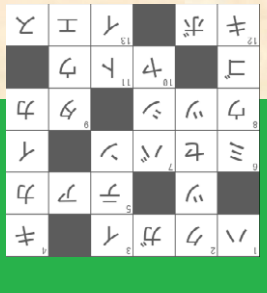
ひたちなか工場
自動車買取、リユース・リビルト部品販売
〒312-0005　茨城県ひたちなか市新光町552-55
自動車買取　TEL：0120-577-814
部品販売（直通）TEL：029-219-8555　FAX：029-219-8557

水戸店
自動車買取・販売、自動車整備、カーディテイル
〒310-0826　茨城県水戸市渋井町588-9
TEL：0120-223-960　FAX：029-291-3338

つくば店
自動車買取
〒305-0853　茨城県つくば市榎戸433-7
TEL：029-875-8035　FAX：029-875-8036

廃車・買取・査定
レポってね♪
TEL0120-223-960
買取専門サイト
カーレポ 車買取り

脳トレの時間の答え合わせをしよう。
どのくらい解けたかな？



公式SNS
情報配信中！
よろしければ
フォローを♪

Twitter
@CaRepoPR

LINE
@592vngcm

Facebook
@carepo.jp